

令和4年度 事業報告書

令和4年度も北杜市の観光振興と地域振興を担うため、行政や市民をはじめ各種団体等と連携、協力しながら各種事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症が社会生活へ影響を及ぼす中で、コロナ過で培った経験を活かし、協会の目的を目指して事業を推進するとともに感染防止対策を講じながら、各種事業、指定管理施設運営等に全力で取り組んだ1年であった。

【1】環境資源の保護・保全事業

月	日	曜	主管等	内容	場所
5	29	日	高根・大泉	美し森環境美化活動(1回目)	美し森
6	5	日	高根・大泉	第75回清里高原つつじ祭(植栽)	美し森
6	12	日	大泉	甲斐大泉駅美化活動(1回目)	甲斐大泉駅
6	12	日	白州	尾白川クリーン事業	尾白川
6	10.	金	小淵沢	小淵沢駅前花壇花苗植栽作業	小淵沢駅
6	28	火	小淵沢	観音平美化活動	観音平
7	3	日	武川	神代桜周辺・精進ヶ滝美化活動(1回目)	神代桜公園・精進ヶ滝
9	11	日	大泉	甲斐大泉駅美化活動(2回目)	甲斐大泉駅
10.	27	木	須玉	通仙峡・本谷川美化活動	増富通仙峡
11	23	水・祝	高根・大泉	美し森美化活動(2回目)	美し森
12	3	土	武川	神代桜周辺・精進ヶ滝美化活動(2回目)	神代桜公園・精進ヶ滝

【2】観光誘客・ブランド確立事業

①主催事業

月	日	曜	主管等	内容	場所
7	1	金	白州	甲斐駒ヶ岳開山式	竹宇甲斐駒ヶ岳神社
7	1	金	部会・大泉	八ヶ岳開山式	天女山駐車場
10	2	日	実行委員会	グランフォンド八ヶ岳2022	清里の森
10	16	日	大泉	第8回八ヶ岳トレイルラン2022	サンメドウズ清里
10	30	日	白州・武川	秋の旧甲州街道を歩こう	台ヶ原
11	6	日	須玉	増富もみじ祭りウォーク	みずかき湖ビジットセンター
11	13	日	小淵沢	ほくと馬のまち祭り2022～信玄棒道ウォークと ホースショーinこぶちさわ～	山梨県馬術競技場

②支部・指定管理事業

月	日	曜	主管等	内容	場所
4	10.	日	小淵沢	ほくと春のぶらぶら桜めぐり	小淵沢周辺桜名所

7	25	～	小淵沢駅観光案内所	JR 駅からハイキング (小淵沢地区)	～9月11日
8	7	日	小淵沢	こぶちさわ すずらん祭り	小淵沢駅前通り

③出店事業

月	日	曜	主管等	内容	場所
8	7	日	本部	トラックマルシェ (1回目)	すずらん祭りにて
8	14	日	本部	トラックマルシェ (2回目)	台ケ原宿
8	21	日	本部	トラックマルシェ (3回目)	台ケ原宿
8	28	日	本部	トラックマルシェ (4回目)	台ケ原宿
10.	1	土	実行委員会	グランフوند八ヶ岳・パン販売	清里の森

【3】観光イベント

月	日	曜	主管等	内容	場所
4	9	土	本部	信玄公祭り観光PRキャンペーン	甲府よっちゃばれ広場
7	2	土	本部	観光・韮崎北杜大会での観光キャンペーン	アルソア女神の森
7	28・29	木・金	本部	日本橋観光キャンペーン	日本橋プラザ
12	10.	日	本部	韮崎駅前観光PRイベント	JR 韮崎駅前
2	15・16	水・木	本部	日本橋観光キャンペーン	日本橋プラザ
2	24	金	本部	JR 八王子駅観光キャンペーン	JR 八王子駅コンコース

【4】指定管理施設

①小淵沢駅観光案内所

(来場者 44,902 人、観光案内者 19,161 人、前年度まで訪問組数であった為、比較はできないが、前年度は 6,968 組であった)

小淵沢駅観光案内所では、案内所職員と協会職員が相互に協力して、地域の観光情報や交通情報等の最新情報をキャッチし案内に役立てるとともに、ホームページの更新や SNS での情報発信を本来であれば本部事務局で行わなければならない業務をサポートした。さらに、本協会事務局あてメールでの各種問合せやメディアからの雑誌等の校正にも対応した。

令和 2 年度後半から運用している県事業の実証実験「サイクル 4 アート」での電動アシスト自転車 COGICOGI のバッテリー交換や貸出業務の補助を行い、快適に利用者が使えるよう努力した。また、9 月に実証実験された「やまなし観光 MaaS 整備事業」において、JTB から協力の要請があり、JR 小淵沢駅を中心とした主要観光地、商業施設を循環するバス運行する「ホクトバス」の発券や利用者の乗車確認の業務を担った。

②長坂駅前観光案内所 (利用者 21,286 人、前年度比で 1,490 の減少)

びたみん市場では、パート職員 4 人がシフト制で業務を行い、利用者が快適に買い物

をしていただけるよう心がけて販売業務を行ったが、全体的には収益増には至らなかった。

年当初の長坂マルシェのような行事ができなかったので、令和5年度に繋げたい。

③ 美し森観光案内所（利用者 16,562 人、昨年度比で 5,414 の増加）

今年度は4名体制で、原則1日パート職員2名のシフト制で業務を行ってきた。案内業務や清掃などは、親切かつ丁寧な対応を心がけたことで来訪者からも好評であった。自主事業では、今年度から新たに地元アート&クラフトの会員の事業者からの出品・販売も行ったが、収益増には至らなかった。

年当初の休憩場の活用、ポール等の貸出や、簡単なアウトドアウェアの販売の実現ができなかった。展望台デッキを生かした新たな事業も今後の課題である。

④ 甲斐大泉駅前観光案内所（利用者 1,897 人、前年度比で 257 の増加）

パート職員1名で金・土・日・祝日営業となっている。今まで収益事業を行っていなかったが、清里ピクニックバスのチケット委託業務を行った。美し森観光案内所よりもチケット利用者は多かった。来訪者は、昨年度とほぼ同程度であり、決して十分な状況ではないため、利用者増加が課題である。

【5】 JR 甲斐大泉駅委託事業

市内在住者の個人的な寄付金で行っていた事業で、年度末に事業資金が概ね無くなってしまったため、苦渋の選択で、甲斐大泉駅乗車券簡易発券委託事業を令和5年3月31日にて終了した。

令和5年1月にはJR長野支社モビリティ・サービスユニットの担当者と面会、これまでの当協会の経過を説明の上、年度末で契約更新を行わない旨を報告した。なお、今後は、大泉支部や地域の声などを参考に、小海線の活性化に向けてのプロジェクトの可否を模索した上で、駅舎の活用、宣伝方法の拡充、イベントやノベルティ配布など、関係団体を巻き込んで検討する構想を説明（構想素案として、当該施設を観光案内業務や小海線活性化組織の事務所としての活用、他）。そのためには、現施設の現状維持が不可欠である旨も併せて依頼し、簡易委託終了の周知についても説明した。

その後、JR長野支社小海線統括センターの駅長と面会。小海線の存続について任意組織の設立発動に向けての動きや、存続に向けての連携したイベントの継続開催、情報の共有などを図ることも併せて相談した。駅舎を市が払下げで購入して簡易委託を受託する事例や案も紹介・説明があった。このことを受けて今後の課題としたい。

【6】 後援事業

月	日	曜	主管等	内容	場所
4	24	日	八ヶ岳薪能実行委員会	第31回八ヶ岳薪能	身曾岐神社
4	24	日	つつじ祭り清里ウォーク 実行委員会	第18回つつじ祭り清里ウォーク	清里の森
5	20	金	オレンジネットワーク	信州 ^④ オレンジ割得マップ	北杜市内観光案内所

5	20	金	(一般) バイクロア	白州の森バイクロア 8	白州・尾白の森
6	6	月	百傾繚乱実行委員会	小淵沢オリジナル公演百傾繚乱	女神の森セントラルガーデン
6	6	月	えほんミュージアム清里	しおたにまみこ絵本原画展	えほんミュージアム清里
6	6	月	えほんミュージアム清里	刀根里衣絵本原画展	えほんミュージアム清里
6	8	水	オープンアトリエ実行委員会	秋オープンアトリエ	参加者の工房 (アトリエ)
7	8	金	ワイン&クラフトフェス実行委員会	ワイン&クラフトフェスタ 2022	平山郁夫シルクロード美術館
7	25	月	カントリーフェスタ in 萌木の村実行委員会	カントリーフェスタ in 萌木の村 2022	萌木の村全域
7	25	月	台ヶ原宿市実行委員会	第 20 回 台ヶ原宿市	台ヶ原宿
10	17	月	高根クラインガルテン企業組合	第 24 回大収穫祭	高根クラインガルテン
12	5	月	八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会	八ヶ岳フォトフェスタ	八ヶ岳山麓地域
12	8	木	北杜シェフズバル実行委員会	北杜シェフズバル	清里朝日ヶ丘オーベルジュ牧草地
12	9	金	山梨大学・北杜市教育委員会	「芸術文化講座」 「流転—変わるもの、変わらないもの」	元麻布ギャラリー
2	16	木	えほんミュージアム清里	ペネロペ絵本原画展	えほんミュージアム清里
3	30	木	クラフトマップおらんうーたん 発行 20 周年記念事業実行委員会	北杜市アートクラフト作家作品 展示会	女神の森セントラルガーデン

【 7 】 会議等

月	日	曜	主管等	内容	場所
4	6	水	本部	理事会	高根総合支所
4	11	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
4	18	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
4	25	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
5	2	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
5	9	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
5	11	水	本部	監査会	高根事務所
5	13	金	本部	決算理事会	高根総合支所
5	16	月	本部	役員・市職員との定例打合せ	市役所
5	22	日	本部	令和 4 年度通常総会	須玉ふれあい館
5	30	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
6	6	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
6	14	火	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
6	20	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
6	23	木	本部	第 1 回三役会	
6	23	木	本部	第 1 回理事会	
6	27	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所
6	28	月	実行委員会	グランfondピナレロ八ヶ岳実行委員会	スパティオ小淵沢
7	11	月	本部	役員・市職員・事務局との定例打合せ	高根事務所

7	15	金	本部	第2回三役会	甲斐駒センターせせらぎ
7	15	金	本部	第2回理事会	甲斐駒センターせせらぎ
7	19	火	大泉	八ヶ岳トレイルラン準備会	谷櫻酒造
7	21	木	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
7	26	火	実行委員会	グランフوندピナレロ八ヶ岳実行委員会	須玉ふれあい館
8	5	金	大泉	八ヶ岳トレイルラン実行委員会(1回目)	大泉総合会館
8	17	水	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
8	26	金	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
9	5	月	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
9	5	月	本部	第3回三役会	明野総合支所
9	5	月	本部	第3回役員会	明野総合支所
9	12	月	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
9	13	火	小淵沢	ほくと馬のまち祭 2022～信玄棒道ウォークと八ヶ岳ホースショーin こぶちさわ実行委員会(1回目)	生涯学習センターこぶちさわ
9	21	水	大泉	八ヶ岳トレイルラン実行委員会(2回目)	大泉総合会館
9	26	月	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
10	3	月	須玉	増富もみじ祭りウォーク実行委員会	みずがき湖ビジター
10	4	火	白州・武川	秋の旧甲州街道を歩こう実行委員会	甲斐駒センターせせらぎ
10	5	水	本部	第4回三役会	長坂町農村環境改善センター
10	5	水	本部	第4回理事会	長坂町農村環境改善センター
10	11	火	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
10	16	日	大泉	第8回八ヶ岳トレイルラン 2022	サンメドウズ清里
10	19	水	小淵沢	ほくと馬のまち祭 2022～信玄棒道ウォークと八ヶ岳ホースショーin こぶちさわ実行委員会(2回目)	生涯学習センターこぶちさわ
10	27	木	須玉	増富もみじ祭りウォーク実行委員会	みずがき湖ビジターセンター
11	2	水	本部	第5回三役会	生涯学習センターこぶちさわ
11	2	水	本部	第5回理事会	生涯学習センターこぶちさわ
11	21	火	本部	役員・市職員・事務局との打ち合わせ	高根事務所
12	19	月	本部	第6回三役会	明野総合支所
12	19	月	本部	第6回理事会	明野総合支所
1	27	金	本部	第7回三役会	白州総合支所
1	27	金	本部	第7回理事会	白州総合支所
1	11	火	小淵沢	小淵沢役員会	小淵沢事務所
2	13	月	小淵沢	ほくと馬のまち祭り 022～信玄棒道ウォークと八ヶ岳ホースショーin こぶちさわ実行委員会(3回目)	生涯学習センターこぶちさわ
2	17	金	大泉	八ヶ岳トレイルラン実行委員会(3回目)	谷櫻酒造
2	21	火	本部	第8回三役会	須玉ふれあき館
2	21	火	本部	第8回理事会	須玉ふれあい館

【8】 ツーリズム推進事業（北杜市）

①アートツーリズム推進業務委託事業

北杜市には多くの美術館や博物館といった、芸術に係る施設が点在している。これらを観光資源の一つと捉え、ミュージアムを巡るとともに宿泊を伴った観光客を獲得するため、これらの施設の情報発信及び情報発信ツールを制作することで、アートツーリ

ズムを推進することを目的とし事業を行った。

市内に点在する美術館や博物館及び宿泊施設の情報について Web サイト等を活用し、広く情報発信することで、これに併せて情報発信用の冊子を制作した。なお、業務の実施にあたっては各施設には事前に掲載許可を取り、取材等を行いながら作成を進めるとともに、市観光課と協議を行いながら進めた。業務完了後に出来上がった冊子については、各施設、観光案内所等にて配布し、今後の観光PRイベントにも活用予定である。

②サイクルツーリズム推進業務委託事業

北杜市は名だたる山々に囲まれた土地柄から、景観に優れるとともに様々な地形を有している。このため、多くのサイクリストがトレーニングや観光等を目的に訪れている。市内ではサイクリスト向けの大会や大人から子供まで楽しめる体験イベントなども開催されており、プロ・アマチュア問わずサイクルを楽しむことが出来る地盤を有している。本業務は、本市のもつ自然・歴史・文化といった魅力や幅広いジャンルの施設・店舗と自転車を結び付けたモデルルート造成を行うとともに、「北杜市＝自転車」というイメージ定着のための情報発信をすることにより、本市のスポーツツーリズムを推進することを目的とし業務を行った。

自然・歴史・文化といった魅力に触れつつ、飲食店・宿泊施設・体験施設などの利用促進に繋がるサイクルートを造成するとともに、Web や専門誌等によりサイクルツーリズムに繋がる情報発信を行い、業務の実施にあたっては市観光課と協議を行いながら進めた。令和5年度には、造成したサイクルートを活用し宿泊を伴う20名程度の参加者を募集しサイクルツアーを開催予定である。

【9】山梨県事業

①サイクル4アート事業<観光文化課>

アートツーリズム県事業で令和2年度から市内の文化観光拠点施設の「平山郁夫シルクロード美術館」及び「中村キース・ヘリング美術館」にレンタサイクル実証実験「サイクル4アート」として電動アシスト自転車の設置を検討し、施設利用者へ貸し出す実験が令和3年10月より小淵沢駅観光案内所横のスペースにCOGICOGIシステムを使い設置した。小淵沢駅エリアにおけるアートと観光を結べる事業として小淵沢駅観光案内所が協力をしている。電動アシスト自転車のバッテリー交換や貸出業務の手助けをすることで、日々の業務は増えたが、利用者には大変喜んでもらっている。

まだまだ、実証実験の域を超えられていないが、運用方法の見直しや手数料の請求等も今後はしていきたいと考えている。

②スポーツツーリズム<スポーツ振興課>

地域スポーツコミュニケーションであるやまなしスポーツエンジンからJTBを通して、各地のスポーツイベント参加者やスポーツ施設利用者にアンケートカードを配布する協力依頼を受け、具体的には、イベントでは10月開催された「グランfondピナ

レロハヶ岳」と「ハヶ岳トラバース」の2大会の参加者に、観光案内所へ来た登山やトレッキングの方へ配布、各乗馬クラブなどにもカードの設置を頼み、アンケートカードの配布に協力をした。カードにあるQRコードからアンケートが手軽にできる方法は、協会各種イベントでも導入できる方法であり、今後の参考にしていきたい。

③「やまなし観光 MaaS (Mobility as a Service) 事業」 <山梨県・JT B>

山梨県では観光客の県内周遊を促進している「シンゲンランド」の一環として、JR小淵沢駅を中心とした主要観光地、商業施設を循環するバスの運行を9月の土日祝に行った。JT Bを通してJR乗車券とセットで循環バスのフリーパス「ホクトパス」を販売し、タクシーと組み合わせた経路を掲載することで観光客に対してシームレスな移動手段を提供する実証実験に協力した。小淵沢駅観光案内所では、乗車当日のチケット販売とチケット引換業務、地域案内等を担った。当初web広告を中心にプロモーションをJT Bで実施し、観光客誘致と北杜市の認知拡大を目指していたが、利用者への周知が不足であったことから期待された利用者数には至らなかった。

【10】その他事業

① 美し森展望デッキ愛称募集事業 <北杜市観光協会>

清里高原「美し森」の麓から山頂まで設置されていた木道の改修工事が令和5年度まで行われている中、すでに更新工事が終了した区間の歩道脇に、美しいツツジや北杜市が誇る山岳風景の富士山、南アルプス、ハヶ岳をはじめ山々の眺望が素晴らしいデッキが新設されました。今後このハヶ岳南麓を代表する観光名所として多くの方に親しんでいただけるような愛称を募集いたしましたところ、県内外から353作品ものご応募を頂いた。

第一次、二次審査を経て、最終の審査会を設けて、令和5年3月1日に「清里美し森デッキ」と愛称が決定した。また、3月21日には美し森会場で愛称発表式が、上村市長、県観光文化部長の臨席を頂き行われた。令和5年度には麓からの木道更新工事も終了の見込みで、多くの観光客に愛される場所になることを期待している。

【総評】

令和4年度は、市観光課の戦略官と課長が顧問及び参与として協会の業務運営全般に関わっていただけになった。しかし、4月から配属された観光地域おこし協力隊1名の急な退職があり、せっかく慣れたところだったため痛手となった。10月に再度観光地域おこし協力隊1名の事務局への配属があり事務局が3名体制にはなったが、目の前の秋のイベントを熟すのが精いっぱいだった。また、高根に2名、小淵沢に1名と事務局が離れての業務体制が変わったことで高根本部の電話等の比重が大変になった。各事業や業務を少ない事務局体制の中なんとか乗り切れたのは、各理事の手助けや顧問の助言があり、さらに参与の強力な手助けがあったおかげである。来年度は参与が移動となっ

てしまったため、業務のスムーズ化を図り、効率の良い事務局体制の強化を目指したい。また、新しい事業としては、北杜市の特色である野菜生産者の生産物や苗などを市内各所に出向いて販売するトラックマルシェを実現できたが、宣伝等が行き渡らず集客に結びつかなかったのは大きな反省点である。今後続けていく上での場所や時期などを検討したい。また、「北杜市観光協会だより」も創刊号が発行できたが、令和5年度へ第2号、第3号と繋げていきたい。

最後に年度末の3月30日に韮崎にある鈴屋リネンサプライの自己破産申請を受け、ゴールデンウィークを控える中、宿泊業者の窮地を北杜市内全体のことと受け止め、市観光課、市商工食農課、商工会といち早く連携を取り対策にあたった。現在進行形で進めている。

コロナウイルス感染症の影響が長期化した影響で、宿泊事業、飲食業及び運輸運搬事業者等のまだまだ厳しい経営状況にあることも理解し、協会の目指すところに向かい観光振興、地域振興に心がけ皆さまの期待に応えていきたい。